

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月25日		記入者	連絡先	2725
部 名	経済部	課 名	産業振興課	課長名	下山 啓二
事務事業名	産学連携支援事業				
予算上の事務事業名	産学連携支援事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		31120		
基本目標	Ⅲ「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします				
基本施策名	第1節 活力ある産業の振興				事業開始年度
施策名	第2施策 新たな成長産業の創造				平成13年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	調査・研究 ▼				
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象 (誰、何)	
市内中小企業に対して、産学連携・特許情報活用アドバイザーを派遣し、産学連携のマッチング等を実施し、企業と大学等研究機関の産学連携を円滑に推進するとともに特許情報の活用等について指導及び相談を実施することにより、新分野・新技術開発への支援を行い、市内産業の活性化を図る。また、相模原市が主催する首都圏南西地域産業活性化フォーラムとその分科会にアドバイザーを派遣し、産学・産産連携や特許流通等を目的とした当該事業をより効果的に実施する。				市内中小企業	
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。					
実施期間 平成17年4月1日～平成18年3月31日 調査企業数 延べ31社 調査方法 企業訪問、電話相談、フォーラム出席等によりアドバイザーが実施 フォーラム及び分科会出席状況 フォーラム出席3回、分科会出席6回					
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移 <span style="float: right;">〔単位：千円〕</span>					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
一般財源	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	670	670	670	670	670
事業コスト合計	3,070	3,070	3,070	3,070	3,070
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	産学連携支援事業			対象名称 と単位	相談・支援等企業数 (件)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	3,070	3,070	3,070	3,070	3,070
対象数	25	26	31	40	40
単位あたり経費(円)	122,800	118,077	99,032	76,750	76,750
前年度比		0.96	0.84	0.78	1.00

9 活動指標・・・実施した内容(活動)を数値化したもの					
指標名と単位	調査件数(件)	指標式と指標の説明		新分野・新技術開発のための調査件数	
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	25.0	26.0	31.0		
目標	25.0	30.0	30.0	40.0	40.0
目標達成度(%)	100.0	86.7	103.3		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	コーディネート件数(件)	指標式と指標の説明		産学連携又は特許移転等のコーディネート件数	
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	0.0	0.0	3.0		
目標	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
目標達成度(%)	0.0	0.0	60.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
B	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価(一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★] : 良好な状態を維持する事業				
	[★★★★] : 概ね良好な状況である事業				
	[★★★] : 見直しを行う必要がある事業				
	[★] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			実際にコーディネートに至らなくても技術的なアドバイスが得られるため、市内企業にとっては有益な事業である。コスト面等を考慮し、現状維持とする。
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
研究開発支援事業や南西地域連携サポート事業との関連を強化し成果の増大を図る。			新製品・新技術開発に取り組む中小企業にとっては重要な支援制度であることから、周知の強化を図ることにより活用を促進する。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			産学連携を更に推進するため、本事業の周知に努めていただきたい。
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			